

株式会社宮崎太陽銀行
2025年3月期決算について
(ダイジェスト版)

1 . 連結決算-概要	11 . 地域経済活性化への取組み（人材紹介支援）
2 . 損益-概要（単体）	12 . 地域経済活性化への取組み（地元企業との連携）
3 . 損益-業務粗利益の状況（単体）	13 . 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）
4 . 損益-資金利益の状況（単体）	14 . 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）
5 . 損益-経費の状況（単体）	15 . お取引先への事業支援の取組み
6 . 損益-与信費用・不良債権の状況（単体）	16 . お取引先への事業支援の取組み
7 . 貸出金の状況（単体）	17 . 地域経済活性化への取組みの一例 （宮崎太陽キャピタル）
8 . 預金の状況（単体）	18 . 地域経済活性化への取組みの一例 （宮崎太陽キャピタル）
9 . 自己資本比率（単体・速報値）	19 . 2024年度の主な取組み
10 . 2026年3月期の業績予想（単体）	

1. 連結決算－概要

- ① 当期連結決算は、7期ぶりの増収減益（経常利益ベース）
- ② 経常収益は、貸出金利息の増加により前年同期比243百万円増加の14,859百万円
- ③ 経常利益は、前年同期比570百万円減少の1,887百万円
- ④ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比430百万円減少の1,332百万円
- ⑤ 自己資本比率は、前年同期比0.06ポイント上昇し8.20%

1. 連結経営成績

(単位：百万円)

	2025年3月期			2024年3月期	2025年3月期 業績予想
		2024年3月期比	業績予想比		
経常収益	14,859	243	859	14,615	14,000
経常利益	1,887	▲ 570	187	2,457	1,700
親会社株主に帰属する当期純利益	1,332	▲ 430	232	1,763	1,100

2. 連結自己資本比率

(単位：百万円、%)

	2025年3月期		2024年3月期	2023年3月期
	速報値	2024年3月期比		
自己資本比率	8.20%	0.06%	8.14%	8.12%
自己資本の額	37,071	943	36,128	34,966
リスクアセット	451,824	8,006	443,818	430,196

2. 損益－概要（単体）

- ① 業務粗利益は、前年同期比214百万円減少の9,556百万円
- ② コア業務純益は、前年同期比181百万円減少の1,868百万円
- ③ 与信費用は、前年同期比503百万円増加の921百万円
- ④ その結果、当期純利益は、前年同期比419百万円減少の1,320百万円

(単位：百万円)

	2025年3月期			2024年3月期	2025年3月期 業績予想
		2024年3月期比	業績予想比		
業務粗利益	9,556	▲ 214		9,771	
経費（除く臨時処理分）（▲）	7,822	▲ 23		7,845	
コア業務純益	1,868	▲ 181	168	2,049	1,700
与信費用（▲）	921	503	421	417	500
経常収益	12,667	242	667	12,424	12,000
経常利益	1,767	▲ 548	167	2,315	1,600
特別損益	7	23		▲ 15	
税引前当期純利益	1,774	▲ 525		2,299	
法人税等合計	454	▲ 105		559	
当期純利益	1,320	▲ 419	220	1,740	1,100

3. 損益－業務粗利益の状況（単体）

- ① 資金利益は、前年同期比200百万円減少の9,727百万円
- ② 役務取引等利益は、前年同期比10百万円減少の▲47百万円
- ③ その他業務利益は、前年同期比4百万円減少の▲122百万円

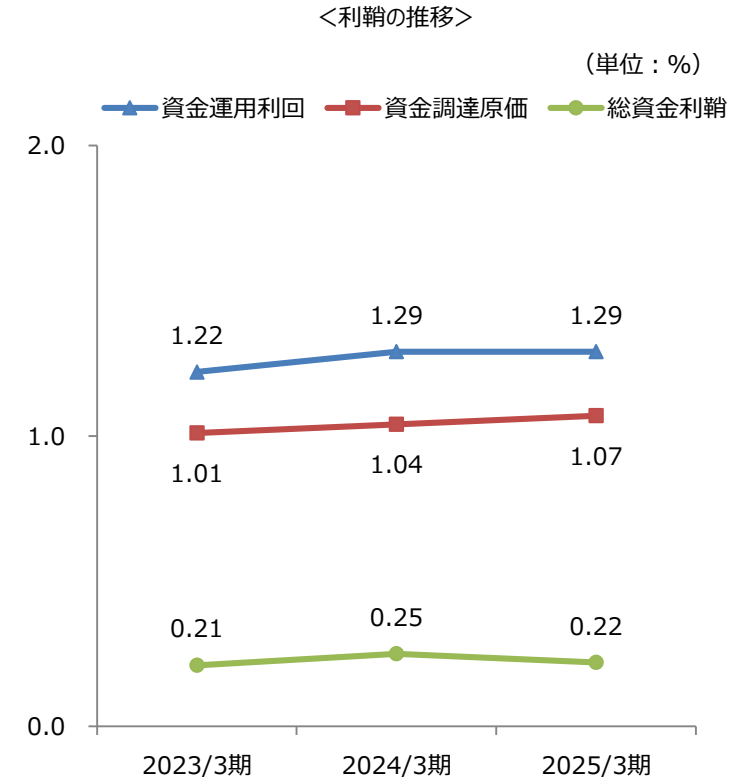
(単位：百万円)

	2025年3月期		2024年3月期
		2024年3月期比	
業務粗利益	9,556	▲ 214	9,771
資金利益	9,727	▲ 200	9,927
役務取引等利益	▲ 47	▲ 10	▲ 37
その他業務利益	▲ 122	▲ 4	▲ 118

4. 損益－資金利益の状況（単体）

- ① 資金利益は、前年同期比200百万円減少の9,727百万円
- ② 中小規模事業者等向け貸出金利息は、前年同期比204百万円増加の4,851百万円
- ③ 円預金利息は、前年同期比405百万円増加の449百万円
- ④ 貸出金利回は、前年同期比0.01ポイント上昇の1.52%

(単位：百万)					
	2025年3月期		2024年3月期		2023年3月期
		2024年3月期比		2023年3月期比	
① 資金利益	9,727	▲ 200	9,927	223	9,704
資金運用収益	10,177	204	9,972	219	9,752
貸出金利息	8,464	248	8,216	62	8,153
② (うち中小規模事業者等向け)	4,851	※ 204	4,647	※ 66	4,581
有価証券利息配当金	1,496	▲ 154	1,650	226	1,423
その他受入利息	216	111	105	▲ 68	174
資金調達費用	449	404	44	▲ 3	48
③ 円預金利息	449	405	43	▲ 4	48
利鞘 (単位：%)					
資金運用利回 (A)	1.29	0.00	1.29	0.07	1.22
④ 貸出金利回	1.52	0.01	1.51	▲ 0.01	1.52
(うち中小規模事業者等向け)	1.49	0.03	1.46	0.00	1.46
有価証券利回	0.93	▲ 0.10	1.03	0.15	0.88
資金調達原価 (B)	1.07	0.03	1.04	0.03	1.01
預金等利回	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00
総資金利鞘 (A) - (B)	0.22	▲ 0.03	0.25	0.04	0.21



5. 損益－経費の状況（単体）

- ① 経費は、前年同期比23百万円減少の7,822百万円
- ② うち人件費は、前年同期比6百万円減少の4,229百万円
- ③ うち物件費は、前年同期比6百万円減少の3,088百万円
- ④ うち税金は、前年同期比10百万円減少の504百万円

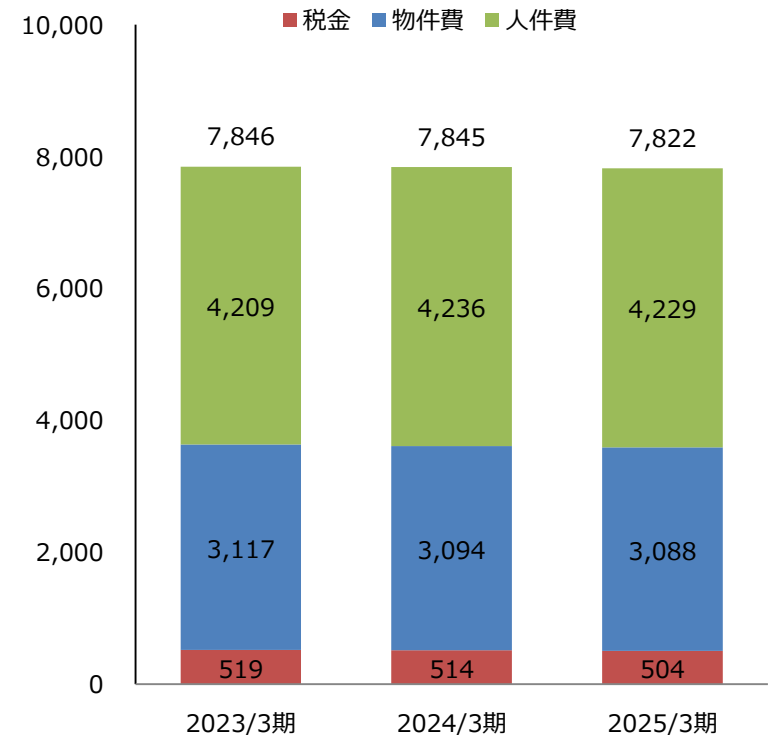
経費内訳

（単位：百万円）

	2025年3月期	2024年3月期比	2024年3月期
経費	7,822	▲ 23	7,845
人件費	4,229	▲ 6	4,236
物件費	3,088	▲ 6	3,094
税金	504	▲ 10	514

＜経費内訳の推移＞

（単位：百万円）



6. 損益－与信費用・不良債権の状況（単体）

- ① 与信費用は、前年同期比503百万円増加の921百万円
- ② 金融再生法開示債権額は、前年同期比3,610百万円増加の12,736百万円
- ③ 開示債権の総与信に占める割合は、前年同期比0.62ポイント上昇の2.27%

与信費用

(単位:百万円)

	2025年3月期		2024年3月期
		2024年3月期比	
与信費用	921	503	417
一般貸倒引当金繰入額	321	263	58
不良債権処理額	599	240	359

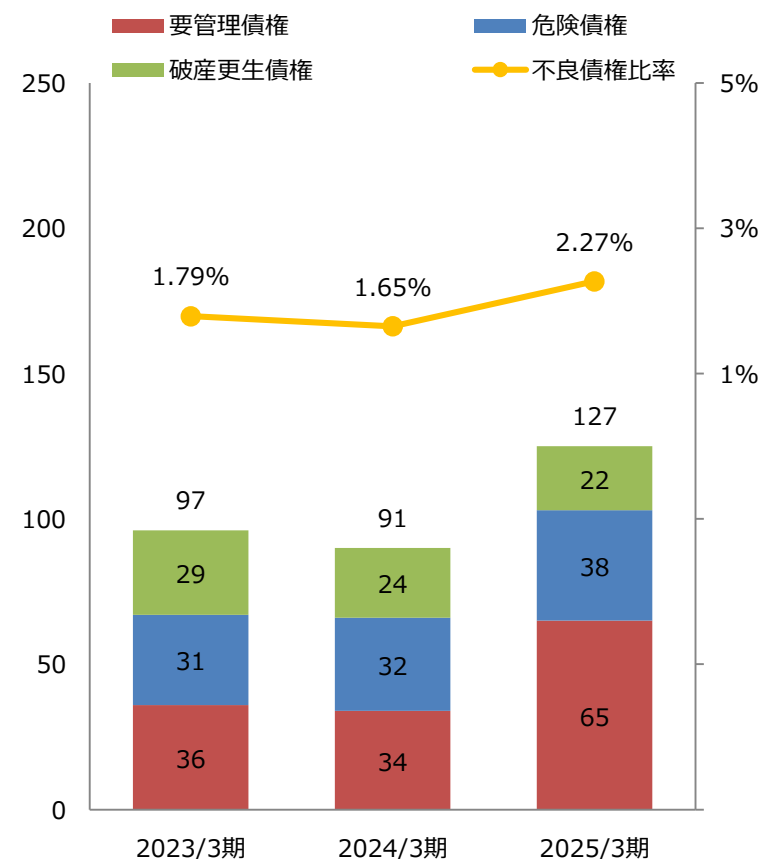
金融再生法開示債権

(単位:百万円、%)

	2025年3月期		2024年3月期
		2024年3月期比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,284	▲ 124	2,409
危険債権	3,887	623	3,263
要管理債権	6,563	3,110	3,452
小 計 (A)	12,736	3,610	9,125
正常債権	546,429	3,184	543,245
合 計 (総与信)	559,165	6,794	552,371
開示債権 (A) の総与信に占める割合	2.27%	0.62%	1.65%

＜金融再生法開示債権の推移＞

(単位:億円、%)



7. 貸出金の状況（単体）

- ① 中小規模事業者等向け貸出は、前年同期比末残75億円、平残76億円増加
これに伴い、貸出金全体の末残は前年同期比68億円増加の5,585億円
- ② 中長期でみると中小規模事業者等向け貸出は、2021年3月期比、末残259億円増加、平残336億円増加

末残

(単位：百万円)

	2025年3月期	2024年3月期比	2021年3月期比	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2021年3月期
貸出金	558,564	6,814	36,097	551,750	544,124	535,172	522,467
個人向け	150,467	2,443	17,489	148,024	144,237	138,629	132,978
中小規模事業者等向け貸出	331,155	7,522	25,990	323,633	319,739	315,245	305,165
金融機関等向け貸出	1,000	▲ 1,000	▲ 2,000	2,000	3,000	3,000	3,000
その他	75,942	▲ 2,151	▲ 5,382	78,093	77,148	78,298	81,324

平残

(単位：百万円、%)

	2025年3月期	2024年3月期比	2021年3月期比	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2021年3月期
貸出金	553,580	10,113	41,357	543,467	535,268	525,633	512,223
個人向け	148,797	3,195	17,518	145,602	140,939	135,222	131,279
中小規模事業者等向け貸出	325,087	7,652	33,653	317,435	312,148	306,461	291,434
その他	79,696	▲ 734	▲ 9,814	80,430	82,181	83,950	89,510
貸出金に占める中小規模事業者等向け貸出割合	58.72%	0.31%	1.82%	58.41%	58.32%	58.30%	56.90%

8. 預金の状況（単体）

- ① 預金は、前年同期比末残75億円、平残187億円増加の末残7,623億円、平残7,695億円
- ② 中長期では、2021年3月期比、末残606億円増加、平残768億円増加

末残

(単位：百万円)

	2025年3月期	2024年3月期比	2021年3月期比	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2021年3月期
預金	762,338	7,584	60,641	754,754	736,216	725,973	701,697
個人	552,052	3,448	43,431	548,604	540,792	527,435	508,621
法人	210,286	4,136	17,211	206,150	195,424	198,538	193,075

平残

(単位：百万円)

	2025年3月期	2024年3月期比	2021年3月期比	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2021年3月期
預金	769,582	18,761	76,884	750,821	739,869	721,861	692,698
個人	553,878	7,495	63,581	546,383	538,656	518,818	490,297
法人	215,704	11,267	13,303	204,437	201,213	203,042	202,401

(注) 法人預金には、公金預金・金融機関預金を含んでおります。

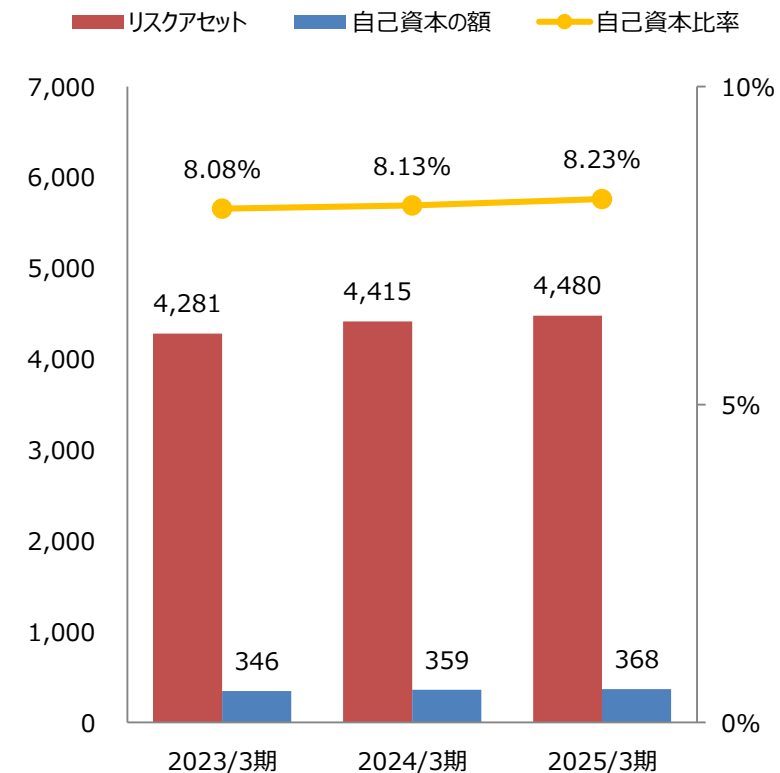
9. 自己資本比率（単体・速報値）

2025年3月期の自己資本比率は、利益の積み上げにより、前年同期比0.10ポイント
上昇の8.23%

（単位：億円、%）

（単位：百万円、%）

	2025年3月期		2024年3月期	2023年3月期
	速報値	2024年3月期比	実績	実績
自己資本比率	8.23%	0.10%	8.13%	8.08%
自己資本の額	36,886	960	35,926	34,636
リスクアセット	448,098	6,501	441,597	428,176



10. 2026年3月期の業績予想（単体）

- ① 2025年度通期の業績予想は、
コア業務純益 : 1,900百万円
経常収益 : 13,500百万円
経常利益 : 1,800百万円
当期純利益 : 1,400百万円 を見込む
- ② 2025年度通期の与信関係費用は500百万円を見込む

(単位：百万円)

	2026年3月期 通期予想	2025年3月期 通期実績
コア業務純益	1,900	1,868
経常収益	13,500	12,667
経常利益	1,800	1,767
当期純利益	1,400	1,320

与信関係費用	500	921
--------	-----	-----

地域経済活性化・社会貢献への取組み

11. 地域経済活性化への取組み（人材紹介支援）

2020年3月より人材紹介業務を開始しており、お取引先の課題の一つである人材確保についてご支援しております。少子高齢化に伴い日本人の紹介が厳しくなる中、2024年4月より外国人材紹介を主業とする事業者と業務提携を行い、特定技能外国人の人材紹介サービスも開始しました。

【人材不足に対する課題解決支援事例】

介護事業として有料老人ホームを運営しており、老人ホーム部門における人材が不足。

日本人募集と併行して外国人材での募集も行ったところ、ミャンマー人4名の応募がありWEB面接を行った結果、3名の採用に至りました。同時に募集していた日本人施設長についても、応募があり採用に至りました。

当行への相談から採用、外国人材の入国まで8ヶ月と短期間での人材確保に繋がりました。



12. 地域経済活性化への取組み（地元企業との連携）



第6回高校生向け就職支援企画「企業と学生のマッチングプロジェクト」の開催

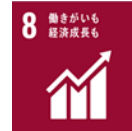
本企画は宮崎県内企業・高校・当行が連携し、就職を希望する高校生に地元企業を紹介することで、地元就職者の増加を促し、地元企業の人材確保に繋げることを目的に開催している企画です。

6回目となる今回は、高城高校、都城農業高校、都城工業高校、都城商業高校の生徒計22名が参加し、都城市、小林市の企業4社を訪問しました。

参加された生徒からは「実際に会社を訪問して話を聞いたり、質問をしたりと貴重な経験になった」等の感想があり、企業側からも、「学生の皆さんと接する貴重な機会をもらえて有難かった」、「学生向けにプレゼンした若手にとっても、非常に良い経験になった」等の感想をいただきました。



13. 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）



「次世代塾」の開講（延べ265名受講）

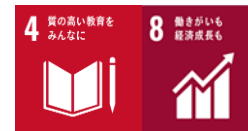
経営層や後継者等を対象とする企業人材育成支援セミナー「次世代塾」を2014年度より毎年開講しています。経営者に必要な基礎や、現状の経営課題を打破するための応用を学ぶ機会を、実践演習を交えながらご提供しています。これまで延べ265名が受講されており、うち18名の新代表者が誕生しています。

2025年度につきましては、6月より第11期次世代塾を開講しており、2025年6月から2026年5月まで各テーマごとに全12回開催します。



（写真は2024年度の次世代塾の様子）

14. 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）



行内研修のノウハウを活用し、地元企業や各種機関の人材育成に役立てていただくため、「太陽セミナー」を開催しました。

当行では、1971（昭和46）年から、太陽セミナーを開催しています。このセミナーは、当行が行内向けに開催してきた「新人研修」や「接遇研修」のノウハウを活用し、お取引先の事業活動に役立ててもらうことが目的です。2024年度は、12事業所の約560名の方が受講しています。

【太陽セミナーの様子】



▲日南振徳高校（1・2年生向け進路ガイダンス）



▲宮崎県工業会



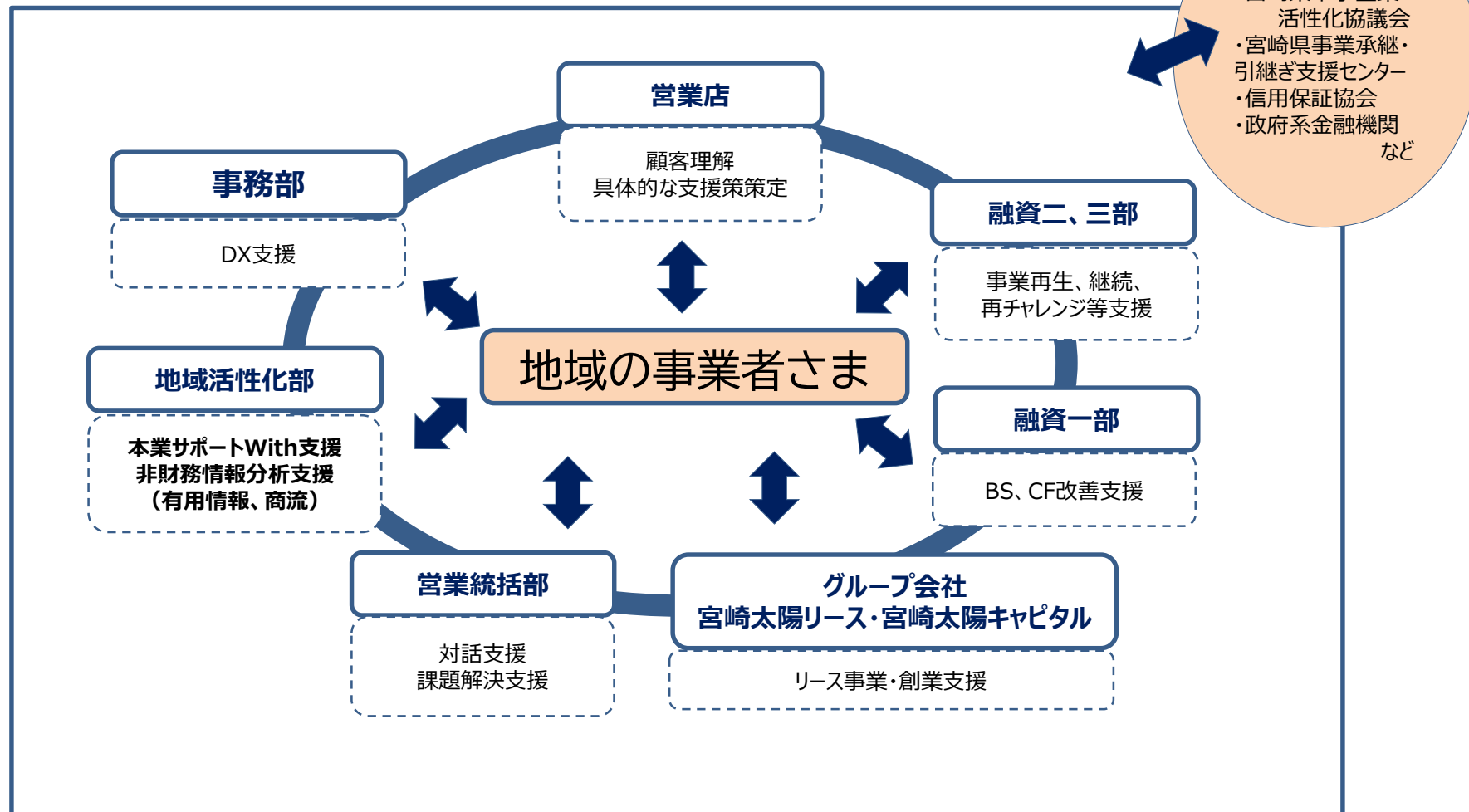
▲INOBECH共同組合

お取引先への事業支援の取組み

15. お取引先への事業支援の取組み

<法人顧客向け事業支援体制図>

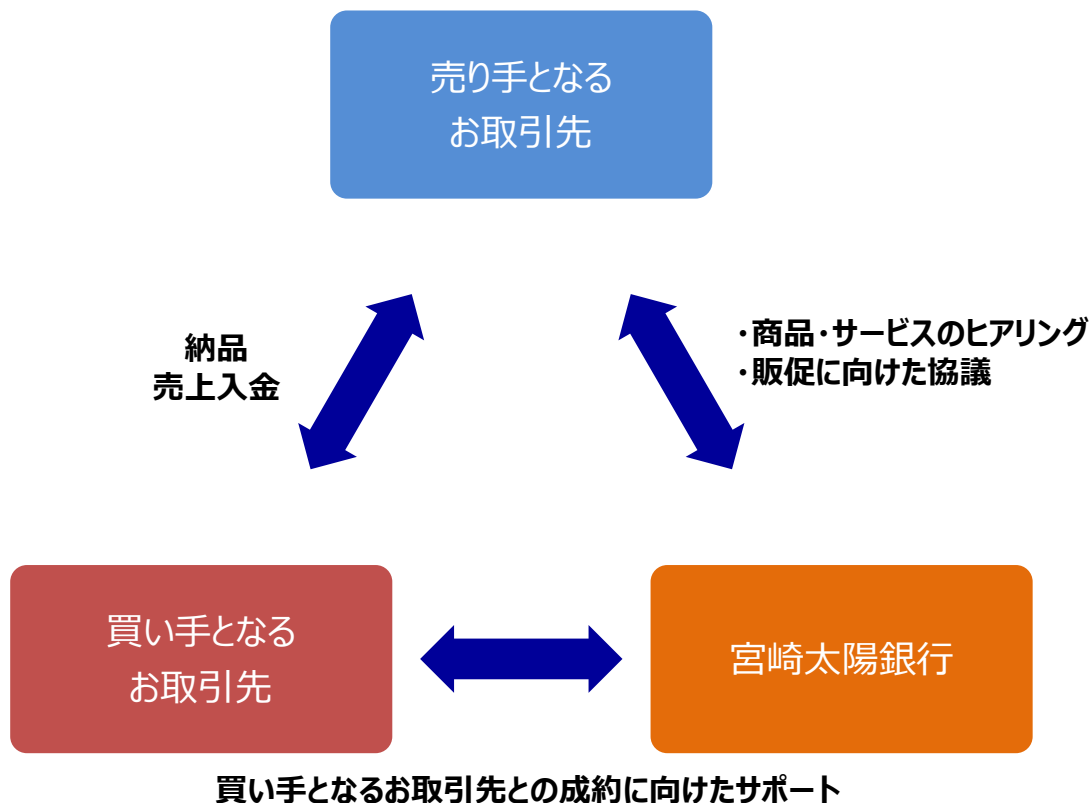
私たちは、営業店・本部各部、グループ会社の専門性を結集して、
地域の事業者さまに貢献します。



16. お取引先への事業支援の取組み

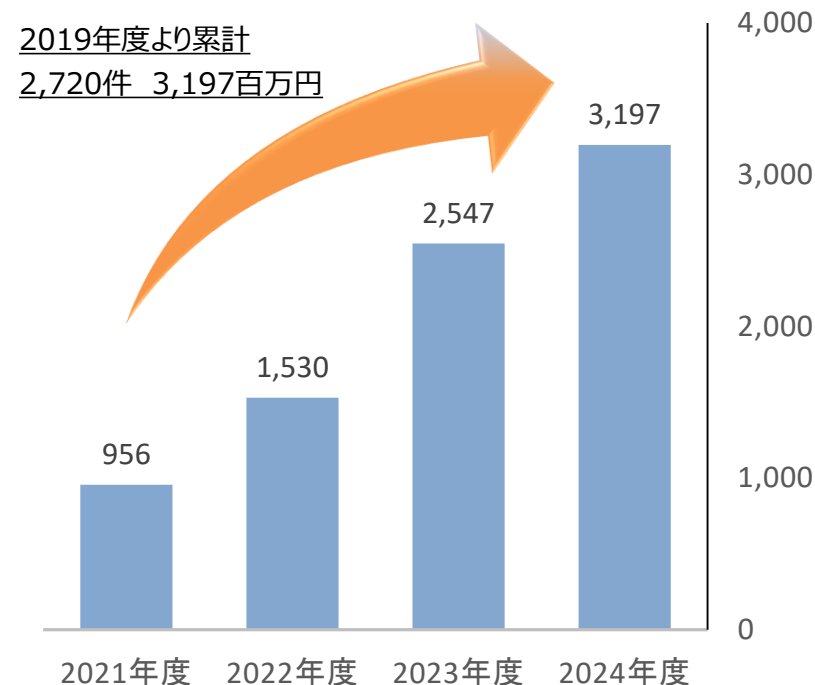
2019年度より業務を開始している販路開拓支援サービス「本業サポートWith」では、当行行員一人一人がお取引先の取扱い商品・サービスを深く理解し、これまでのビジネスマッチングより一歩踏み込んだサービスとして展開しています。『本サービスは、「売り手」となるお取引先だけでなく、「買い手」となるお取引先の事業運営の改善にも繋がるサービスとして取り組んでいます。』

2024年度の実績は、650百万円で業務開始以降累計2,720件の**3,197**百万円を計上しています。



＜累計売上貢献金額の推移＞

(単位：百万円)



宮崎太陽キャピタルの活動紹介

17. 地域経済活性化への取組みの一例（宮崎太陽キャピタル）

宮崎大学の研究成果を活用した企業の支援について

宮崎太陽キャピタルの投資先に、宮崎大学の長年に渡る研究成果を活用した2019年6月設立の同大学発ベンチャー企業があります。製薬会社との提携により、ヒト及びペット用の高品質な抗体医薬品の開発を行っています。

同社は、現在、世界レベルで急速に医療ニーズが増加しているペット（イヌ、ネコ）の疾患に注目。グローバル大手動物製薬会社との提携を行い、治療用の抗体医薬品の研究開発を加速させており、その実績は順調に積み上がっています。

今後、地元宮崎大学での研究が進む過程で世界市場における更なる飛躍にも期待が持たれることから、2024年12月に2回目の追加投資を行いました。地元金融機関系のベンチャーキャピタルとして、引き続き、当社の事業を支援してまいります。



18. 地域経済活性化への取組みの一例（宮崎太陽キャピタル）

過疎地の地域活性化への取組みについて

宮崎太陽キャピタルの投資先に、「地域の価値を拡充し、地域の未来へつなぐ」をミッションに、2012年12月に設立された、食と暮らしを起点とした事業を展開するスタートアップ企業があります。

主軸事業である「保育園留学®」は、1～3週間、こどもは地域の保育園へ通い、親は働きながら多様な地域に滞在する、こどもが主役の暮らし体験です。対象地域は、全国約50地域に拡大し、宮崎県串間市、鹿児島県錦江町、南大隅町で既に開始しております。

2021年のサービス開始以降、「保育園留学®」の利用は、2,000家族を突破しました。宮崎県、鹿児島県での更なる普及を進めるため、地方自治体と連携し、関係人口創出、地域活性化に貢献できるよう、努めてまいります。



2024年度の主な取組み

19. 2024年度の主な取組み

「宮崎県フードバンク」への物資寄贈



- 子どもの貧困問題という地域課題解決の取組みの一つとして、当行グループ全体でフードドライブを実施しました。収集物資については、子ども食堂運営者や児童関係施設への食材提供に取組む「宮崎県フードバンク」へ寄贈しました。



第33回視覚障がい者マラソン協賛金贈呈



- 視覚障がい者の理解啓蒙活動に寄与することを目標に第1回大会（1992年）から毎年協賛活動を行っています。



ラプリーマタウン「小さな親切運動」



- 「わが街を愛そう〜ラプリー・マイタウン」のスローガンの下、「小さな親切運動」宮崎支部の支部長企業として多くの企業と連携し、商店街等の地域の清掃美化活動に営業店、本部が一丸となって参加するなど、美しい街づくりに貢献しています。



19. 2024年度の主な取り組み

第19回全国高校生 金融経済クイズ選手権



- 高校生が金融や経済の知識を競う『第19回全国高校生金融経済クイズ選手権（エコノミクス甲子園）』宮崎大会がオンラインで開催されました。毎年、当行と宮崎銀行が共同で開催しております。



第33回宮崎太陽銀行旗 宮崎県ジュニアドッジボール選手権



- 「第33回宮崎太陽銀行旗 宮崎県ジュニアドッジボール選手権」を開催し、ボランティアとして参加しました。社会貢献活動の一環として第1回大会から参加しており、今回で33回目となります。



銀行窓口・ATM利用体験



- 地域活性化事業への取り組みとして、地元の学生に向けて、銀行の役割や通帳の作り方に関する座学、ATM利用体験などを通して、社会人に必要な知識を学んでいただきました。



19. 2024年度の主な取り組み

個人情報保護に関するセミナー



- お取引先の人材育成に役立てていただくことを目的に、個人情報保護に関するセミナーを地元総合病院の従業員向けに、総合企画部リスク管理室にて開催しました。



くるみん認定通知書交付式



- 当行は、2022年から2023年において「くるみんマーク」を取得しております。2024年から2026年度においても、「くるみんマーク」2回目の認定に向け、仕事と育児の両立に向けた制度の拡充、情報提供を行うことを目標に掲げ、取り組みを継続しております。



勤務時間の服装見直し



- ジェンダー平等、脱炭素社会の実現、働きやすい職場づくりを目的に、男性行員の勤務時の服装について、スーツまたはビジネスカジュアル（スーツに準ずる服装）の選択を可能としました。なお、女性行員については、2024年1月に実施済みです。

